

魚病診断結果

田中真二・中西尚文・羽生和弘・栗山 功・西川久代

目的

県内の養殖魚等の魚病発生状況を把握するとともに、その対策指導を行い、魚病被害の軽減をはかる。

方法

平成20年4月～平成21年3月に水産研究所、同尾鷲水産研究室および同鈴鹿水産研究室に診断依頼のあった病魚

表1. マダいの診断結果

病名	年齢	月別診断件数												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ウイルス病	0					7	14	9	2						32
ウイルス性出血性敗血症	1					5									5
ウイルス性出血性敗血症	2	1													1
リハ性白血病	1	1	1							1					3
エドワジエラ症	0		3	2						1	1				7
滑走細菌症	0		1							1	1				3
	1	1													1
ビブリア病	0		1	2				1							4
	1				1										1
エドワジエラ症	0				2	9	4	1	1						17
	1	1			2	3	2	2					1		11
シェドモス病	0										1				1
リナ球菌症(β)	0					1									1
トコジラ症	1	1													1
スカーカ症	1									1					1
白点病	2	1	1												2
	0					3									3
	1					1									1
心臓へびや症	0					1									1
粘液胞子虫性やせ病	0						1	1	1						3
脳粘液胞子虫症	0												1		1
ペリコ症	0										1				1
	1								1		1				2
アブデイス症	0												1		1
ビバキナ症	0			4		1	1	1		1	3				11
	1	2	1	1						1					4
ココレ症	0												1		1
血管内吸虫症	0	1													1
	1									1		1			2
	2	2													2
クビナク頭虫症	1					1								1	2
タイエ症	0			1											1
真菌病	0									1					1
緑肝	1										1				1
体表潰瘍	1	1								2					3
	2	2	1												3
鰓出血	0		2												2
輸送障害	0	1													1
上湾症	0				1		1								2
不明	1				3										3
	0			2	1	1			1	1					6
	1	1	1			1					1				4
	2	1			1						1				3
計		6	10	8	11	15	39	22	11	8	7	7	10	157	

について、病気の診断を行った。

結果および考察

総診断件数は286件（海産魚介類278件、淡水魚類8件）であった。

魚種、魚病別の診断結果を表1～5に示す。マダイでは、夏季～秋季にエドワジエラ症が多発した。18年度と19年度に多発した粘液胞子虫性やせ病の診断件数は、今年度は3件のみであった。夏季～秋季の出荷魚では、18年度、19年度と同様、上湾症が問題となった。冬季には一漁場でベネデニア症が蔓延した。

ブリおよびクロマグロでは、秋季にノカルジア症が発生した。また、診断件数は少ないものの、夏季から冬季にかけて、ブリへのベネデニアの寄生が例年より重度であるとの現場情報が多数報告された。

中国から輸入されたトラフグで、12月に血管内吸虫症が認められた。

マハタおよびクエでは、ウイルス性神経壊死症(VNN)による被害が例年に比べて大きく、高水温による影響が考えられた。また、カワハギ(体重約10g)でも当県では初めてVNNの発生が確認された。

10～12月に、体表に重度の潰瘍症状が認められる天然スズキの捕獲情報が漁業者や遊漁者から多数寄せられたが、病因と考えられる病原体は確認されず、潰瘍形成の原因は不明であった。

感受性ディスク法による主要病原菌の薬剤感受性試験の結果を表6に示す。いずれの病原菌も、概ね薬剤感受性は高かった。

表2. ブリの診断結果

病名	年齢	月別診断件数												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ウイルス性腹水症	0		2	2											4
類結節症	0														3
リナ球菌症(α)	0		1	2	1	3	3								10
	1												1		1
リナ球菌症 (<i>S. dysgalactiae</i>)	1							1	1	1					3
カビ症	1												1		1
ペリコ症	1														1
性、体表死(原因不明)	1	1													1
不明	1	1													1
計		2	0	2	4	2	4	4	1	1	0	1	0	25	

表3. ヒラメの診断結果

病名	年齢	月別診断件数												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ウイルス性出血性敗血症	0											1		1
滑走細菌症	1													1
レンサ球菌症(β)	2				1									1
エドワジ症	1								1					1
スクーカ症	2				1									1
不明	0	1	1							1				3
計		1	3	0	2	0	0	1	0	2	0	0	0	9

表4. トラフグの診断結果

病名	年齢	月別診断件数												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
滑走細菌症	1									1				1
ヒヅリ病	0									1				1
白点病	2									2				2
粘液胞子虫性やせ病	0									2				2
ヘレボツウム症	1									1				1
血管内吸虫症	0												1	1
脱腸	1												1	1
輸送障害	0									1	1			2
不明	1												1	1
計	不明									1				1
計		0	0	0	0	2	2	1	2	2	2	1	2	16

表6. 主要病原菌の薬剤感受性

薬剤名	菌株数					計
	-	+	++	+++	++++	
エリスロマイシン		1				1
塩酸オキシテトラサイクリン				1		1
オキシソリン酸		1		2		3
フロルフェニコール				3		3
チアンフェニコール		1				1
アンピシリン				3		3
安息香酸ピコザマイシン				3		3
ホスホマイシンカルシウム				1		1

レンサ球菌症 原因菌 (α)						
薬剤名	菌株数					計
	-	+	++	+++	++++	
エリスロマイシン			1			10
塩酸オキシテトラサイクリン				1		12
フロルフェニコール				3		6
アンピシリン					2	2

マダイ エドワジエラ症 原因菌						
薬剤名	菌株数					計
	-	+	++	+++	++++	
アンピシリン					5	5
塩酸オキシテトラサイクリン				1		18
フロルフェニコール				1		7
オキシソリン酸					9	9

表5. その他の魚種の診断結果

(魚種)	病名	年齢	月別診断件数												計
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(マハダ)	ウイルス性神経壊死症	0					1	1	1	1	1	1		5	
		2										1		1	
		4-5										1		1	
	削癩	1				1								1	
	不明	1-3										1		1	
(クエ)	ウイルス性神経壊死症	0										1		1	
		3										1		1	
(スズキ)	体表潰瘍 (原因不明)										2	2		4	
(イシガキダイ)	付ドウイルス病	1										1		1	
(マアジ)	ヒヅリ病	1					1		1			1		3	
	レンサ球菌症(α)	1					2							2	
	不明	1										1		1	
(カンパチ)	輸送障害	1							1					1	
(カワハギ)	ウイルス性神経壊死症	0										1		1	
	滑走細菌症	1										1		1	
	ヒヅリ病	0									1	2		3	
		1	1								3		4		
	レンサ球菌症 (α)	1									2		2		
	レンサ球菌症 (非α, β)	1									1		1		
	イナバト症	1									1		1		
	スクーカ症	1	1											1	
	淡水流入	0											1	1	
(ウマヅラハギ)	ヒヅリ病	不明						1						1	
(マアナゴ)	滑走細菌症	1											1	1	
	エドワジ症	1						1	1	1	1	1		5	
	シュートモナス病	1								1	1		2		
	体表スレ	1											1	1	
	不明	1											1	1	
(クロマグロ)	付ドウイルス病	0									4		4		
	カサガシ症	0									2	2		4	
	血管内吸虫症	0									2		2		
	脊椎骨骨折	0							1	1			2		
	不明	0								2	1		1	4	
(カサゴ)	レンサ球菌症 (α)	2						1						1	
	レンサ球菌症 (非α, β)	2								1				1	
		3								1				1	
	鰓アヘバ症	3								1				1	
(サツキマス)	ヒヅリ病	1	1											1	
(アワビ)	ヒヅリ病	不明							1					1	
(アマゴ)	不明	0											1	1	
(アユ)	細菌性冷水病	0							1					1	
	ちょうちん病	0							1					1	
(マゴイ)	コイヘルペスウイルス病	不明							1	1	1		3		
(ニシキゴイ)	コイヘルペスウイルス病	不明							1	1				2	
計			4	0	6	9	8	14	15	11	7	3	1	1	79